

令和7年度 第9回

希望郷いわてモニターアンケート

<p>課題名</p>	<p>特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺 に関する意識調査</p>
------------	---

令和8年2月

岩手県警察本部生活安全企画課

特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺に関する意識調査結果

岩手県警察本部生活安全企画課

I アンケート調査の概要

1 調査の趣旨

岩手県内における令和7年中の特殊詐欺被害は、認知件数 154 件（前年比+101 件）、被害額約 8 億 1,970 万円（前年比-約 1 億 5,746 万円）と認知件数が大幅に増加しており、SNS型投資・ロマンス詐欺被害も急増し、認知件数 108 件（前年比+58 件）、被害額約 7 億 2,904 万円（前年比+約 3 億 7,553 万円）に上っています。

岩手県警察では、特殊詐欺等の被害を防止するため、関係機関と連携して各種対策に取り組むとともに、多様な媒体、機会において広報啓発活動を行っているところですが、今後の取組の参考とするため、アンケートを実施したものです。

2 調査期間

令和7年12月3日（水）～令和7年12月17日（水）

3 調査方法

調査紙郵送及びインターネット

4 調査対象

令和6、7年度希望郷いわてモニター 200名

5 回答者数

152名

6 回答者属性

(1) 年齢

29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
2	17	13	26	52	42

(2) 性別

男性	女性
65	87

(3) 職業

①会社経営・役員	②会社員	③団体職員	④自営業・自由業	⑤農林水産業
6	33	17	13	13
⑥パート・アルバイト	⑦主婦・主夫	⑧学生	⑨無職	⑩その他
16	23	1	28	2

II アンケート調査の結果

【電話対策の状況】

問1 特殊詐欺被害の多くが、自宅固定電話機への犯人からの連絡をきっかけとする被害であることから、警察では犯人からの電話に出ないための対策として、ナンバーディスプレイ機能や留守番電話機能の活用、防犯機能付き電話機※の設置を呼び掛けています。

【防犯機能付き電話機とは】

番号非通知電話や登録番号以外の電話番号の着信拒否設定、自動録音機能、相手方への警告メッセージ（「この電話は録音しています。」など）の機能がある電話機。

(1) 自宅に固定電話機を設置していますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① ある（(2)に進んでください。）
- ② ない（(5)に進んでください。）

	①	②	無回答
全体	112	38	2
60歳以上	79	13	2
60歳未満	33	25	0

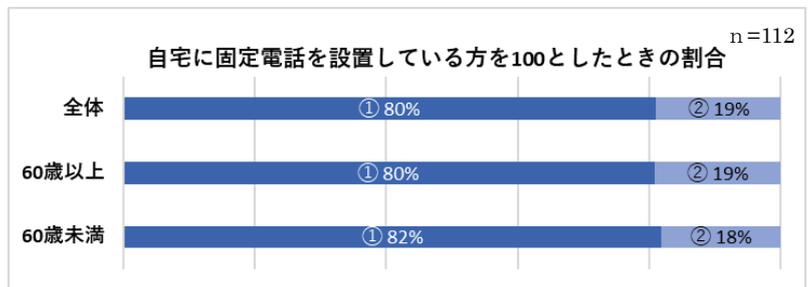


(2) (1)で「①ある」と回答した方に伺います。

設置している電話機に留守番電話機能がありますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① ある（(3)に進んでください。）
- ② ない（(5)に進んでください。）

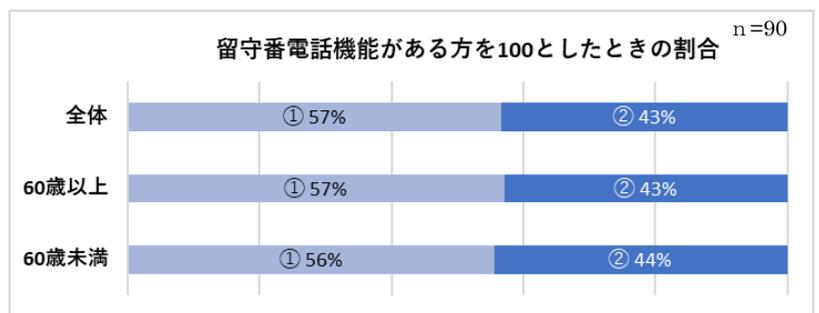
	①	②	無回答
全体	90	21	1
60歳以上	63	15	1
60歳未満	27	6	0



(3) (2)で「①ある」と回答した方に伺います。警察では、在宅時でも留守番電話の設定を行うように呼びかけていますが、特殊詐欺防止のために常時留守番電話に設定していますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① している
- ② していない
((4)に進んでください。)

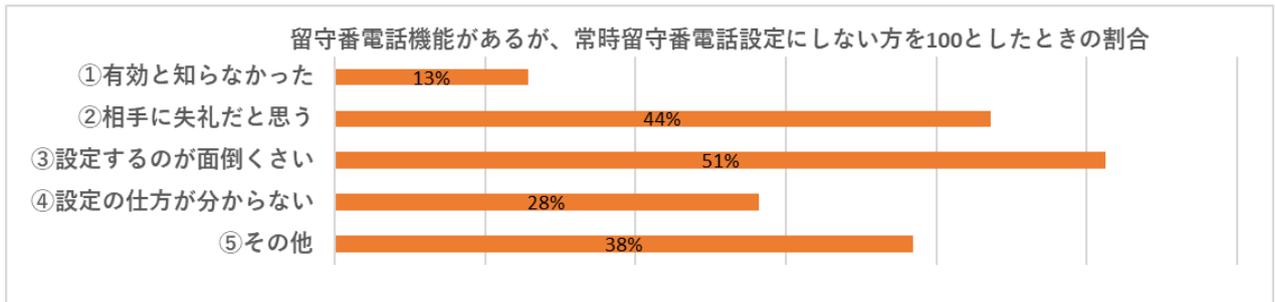
	①	②	無回答
全体	51	39	0
60歳以上	36	27	0
60歳未満	15	12	0



(4) (3)で「②していない」と回答した方に伺います。常時留守番電話の設定にしていない理由はなんですか。当てはまるものを全てお選びください。(複数回答可)

- ① 留守番電話が特殊詐欺の防止に有効と知らなかったから。
- ② 留守番電話にしていると電話をかけてきた相手に失礼だと思うから。
- ③ 留守番電話の設定にするのが面倒くさいから。
- ④ 留守番電話の設定の仕方が分からないから。
- ⑤ その他

	①	②	③	④	⑤
全体	5	17	20	11	15
60歳以上	2	9	14	9	13
60歳未満	3	8	6	2	2



【その他に寄せられた意見】

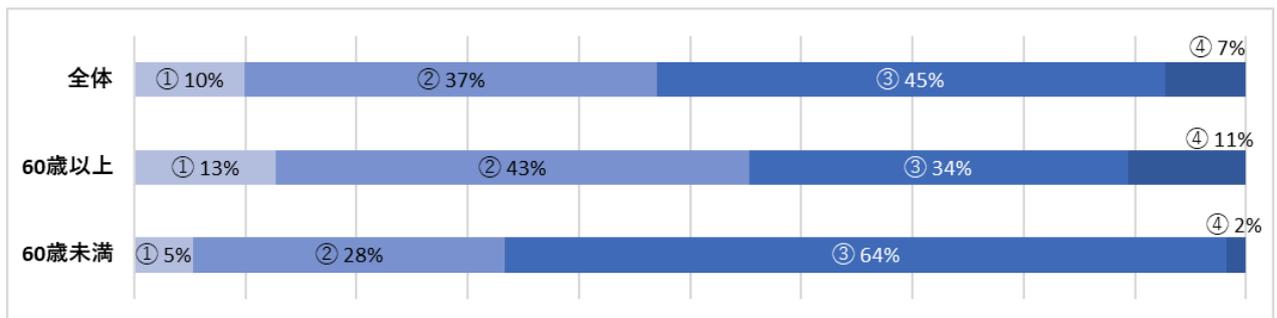
- ・留守番電話機能が無いため。故障しているため。
- ・迷惑電話防止機能が付いているため。
- ・知らない人からの電話はすぐに切るため。
- ・電話が架かってくる回数が少ないため。架かってくる電話には全て対応しているため。
- ・相手に不在（留守）を知らせて悪用される恐れがあるため。

など

(5) NTT東日本では特殊詐欺被害防止の取組として、令和5年5月からナンバー・ディスプレイやナンバー・リクエストの無償化等の取組を行っていますが、この取組内容を知っていますか。

- ① 取組内容や適用条件なども知っている。
- ② 取組をしていることは知っているが、詳しくは知らない。
- ③ 全く知らない。
- ④ 既に利用している。

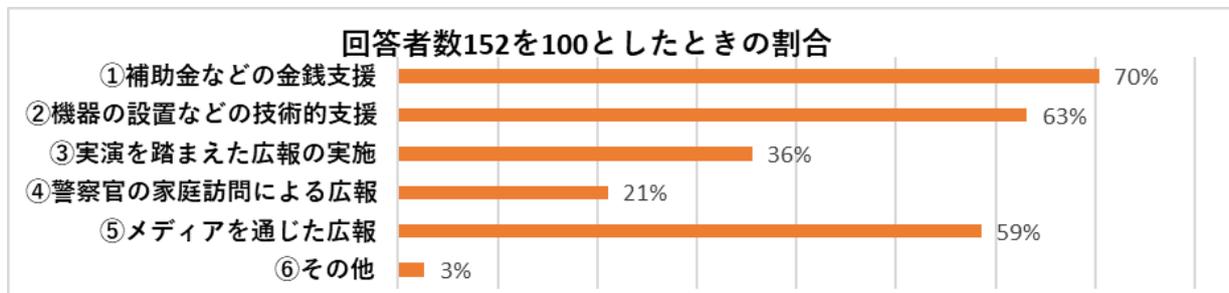
	①	②	③	④	無回答
全体	15	56	69	11	1
60歳以上	12	40	32	10	0
60歳未満	3	16	37	1	1



(6) 防犯機能付き電話機を普及させるためにはどのようなことが必要だと思いますか。当てはまるものを全てお選びください。【複数回答可】

- ① 購入に対する補助金などの金銭的支援
- ② 機器の設置や使用方法に関する技術的支援
- ③ イベント会場での活用方法などの実演を踏まえた広報の推進
- ④ 警察官の家庭訪問時における広報の実施
- ⑤ テレビCMやラジオなどメディアを通じた広報の実施
- ⑥ その他

	①	②	③	④	⑤	⑥
全体	107	96	54	32	89	4
60歳以上	66	67	37	20	51	3
60歳未満	41	29	17	12	38	1



【その他に寄せられた意見】

- ・購入した店舗の方が自宅に来て取り付けてもらえれば安心できる。
- ・身近な人から勧めてもらえれば購入する。
- ・購入時から防犯機能を標準装備で初期設定にして、必要の無い方だけ解除する。
- ・NTT以外の通信会社もナンバーディスプレイやナンバーリクエストの無償化を行ってほしい。

【特殊詐欺被害防止広報CM等について】

問2 岩手県警察では、高齢者をはじめとした幅広い世代に「詐欺に気づく力」を身につけていただくため、令和7年6月から、岩手にゆかりのあるタレント4名（お侍ちゃん氏、ふじポン氏、中川愛子氏、高野真一郎氏）を起用した特殊詐欺被害防止テレビCMを放送しています。

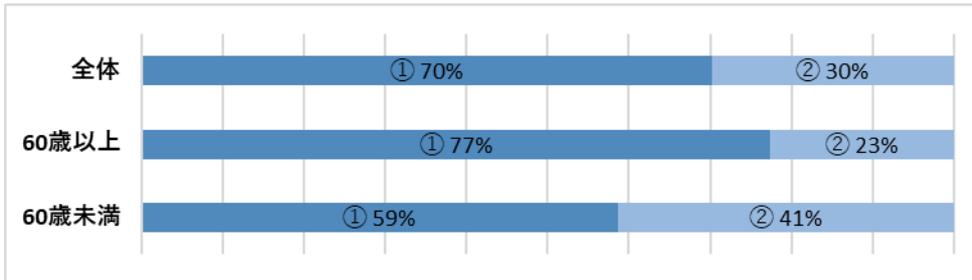


(1) アンケート前、本テレビCMを見たことはありましたか。

当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 見たことがある (2)へ進んでください。
- ② 見たことはない (3)へ進んでください。

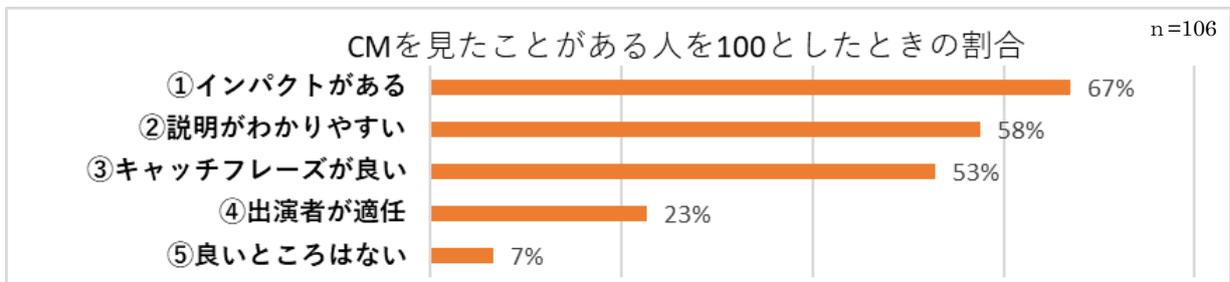
	①	②
全体	106	45
60歳以上	72	21
60歳未満	34	24



(2) (1)で「①見たことがある」と回答した方に伺います。テレビCMに対する印象で当てはまるものを全て選んでください。(複数回答可)

- ① インパクトがある
- ② 説明(ナレーション、字幕)がわかりやすい
- ③ キャッチフレーズ(「それ、サギでござる」)が良い
- ④ 出演者が適任である
- ⑤ 良いところはない

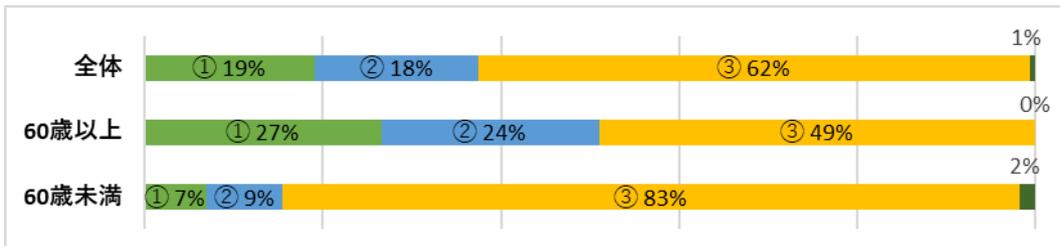
	①	②	③	④	⑤
全体	71	61	56	24	7
60歳以上	48	51	47	17	3
60歳未満	23	10	9	7	4



(3) 岩手県警察では、幅広い世代へ広報を行うべく、本テレビCMと連動した広告や動画を動画投稿サイトのYouTube(ユーチューブ)やTikTok(ティックトック)に掲載していますが、アンケート前にこれらの広告等を見たことがありますか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 見たことがある。
- ② 見たことはないが、家族や知人から話を聞いたことはある。
- ③ 見たことも聞いたこともない。

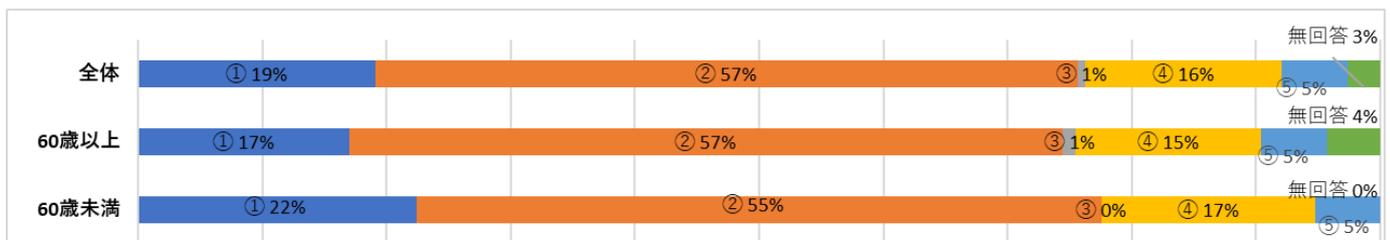
	①	②	③	無回答
全体	29	28	94	1
60歳以上	25	23	46	0
60歳未満	4	5	48	1



(4) 今後、特殊詐欺被害防止のテレビCMを制作する際に、どのようなCMだと特殊詐欺被害防止に効果的だと思いますか。当てはまるものを1つお選びください。

- ① 特殊詐欺の被害額や脅威を伝え、危機感に訴えるようなCM
- ② 特殊詐欺の具体的な手口を紹介し、防止するための対策を伝えるCM
- ③ 家族の見守りなど「優しさや絆」で詐欺を防ごうと広報するCM
- ④ 特殊詐欺対策に関心を持ってもらえるような話題性(インパクト)を重視したCM
- ⑤ これまでのキャッチフレーズ(「それ、サギでござる」など)を使用したCM

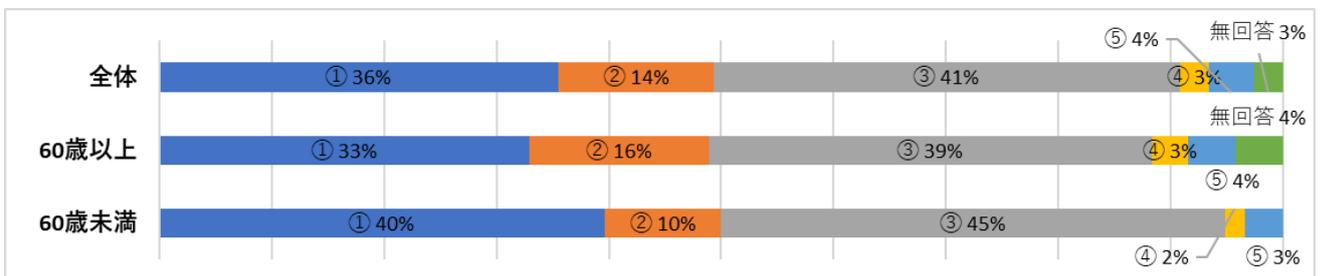
	①	②	③	④	⑤	無回答
全体	29	86	1	24	8	4
60歳以上	16	54	1	14	5	4
60歳未満	13	32	0	10	3	0



(5) 今後、特殊詐欺被害防止のテレビCMを制作する際に、どのような出演者(キャラクター)が適任だと思いますか。当てはまるものを1つお選びください。

- ① 被害に遭っている割合の多い高齢者
- ② 家族での見守りを印象づけるため、子どもや子育て世代の家族
- ③ 岩手県出身や岩手県に縁がある著名人
- ④ 岩手県のご当地ゆるキャラ(そばっちゃんなど)
- ⑤ アニメやイラストなどで描かれたオリジナルのキャラクター

	①	②	③	④	⑤	無回答
全体	54	21	63	4	6	4
60歳以上	31	15	37	3	4	4
60歳未満	23	6	26	1	2	0



【その他の特殊詐欺被害防止対策について】

問3 全国的に国際電話番号*による特殊詐欺電話が急増しており、岩手県内においても国際電話による特殊詐欺の電話が多数確認されているため、国際電話番号に出ない、かけ直さないように注意を呼びかけています。

【国際電話番号とは】

+1 や +44 などから始まる番号を言います。(例+1312345678、+44698765432)

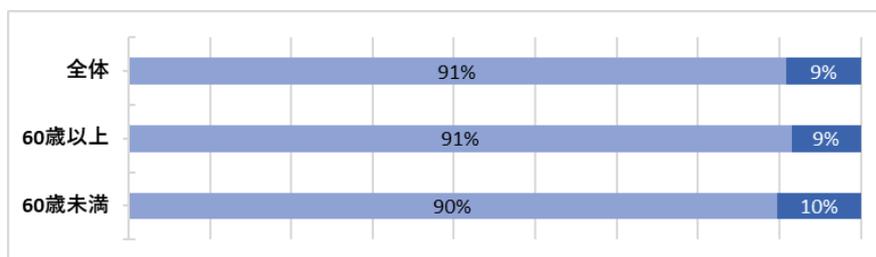
また、「010」から始まる「国際プレフィックス番号」と呼ばれる番号もあります。

「010」は海外に発信する際に使用される番号であり、被害者にかける電話番号として悪用されています。

(1) 国際電話番号による特殊詐欺が急増していることを知っていましたか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 知っている
- ② 知らなかった

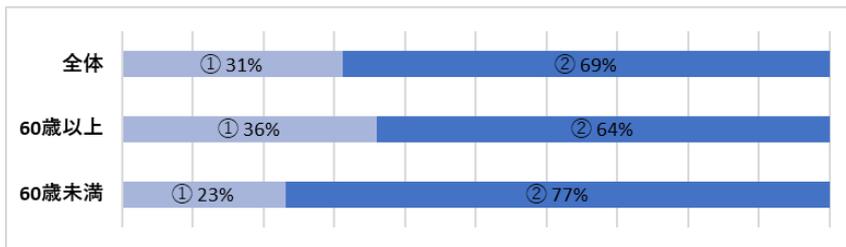
	①	②
全体	138	14
60歳以上	86	8
60歳未満	52	6



(2) 固定電話やひかり電話を使用している場合で、海外との電話が不要な場合は、「国際電話不取扱受付センター」に申込みをすれば、無償で発信・着信を休止することができますが、国際電話不取扱受付センターを知っていましたか。

- ① 知っている
- ② 知らなかった

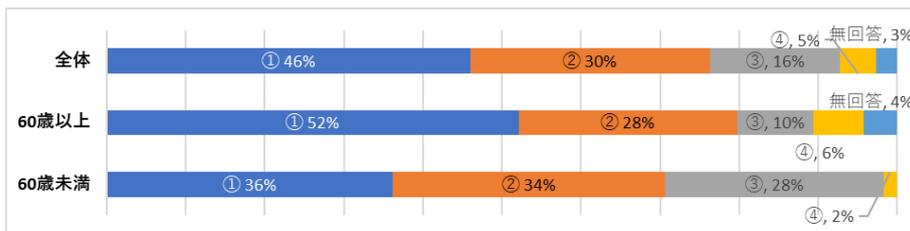
	①	②
全体	43	95
60歳以上	31	55
60歳未満	12	40



(3) 固定電話やひかり電話を使用している方で、国際電話不取扱受付センターへ申込みし、国際電話の休止措置をしたいと思いますか。

- ① 申込みをしたいと思う (問4へ進んでください。)
- ② 申込みはしないと思う ((4)へ進んでください。)
- ③ 自宅に固定電話やひかり電話を設置していない (問4へ進んでください。)
- ④ すでに申込みをしている。(問4へ進んでください。)

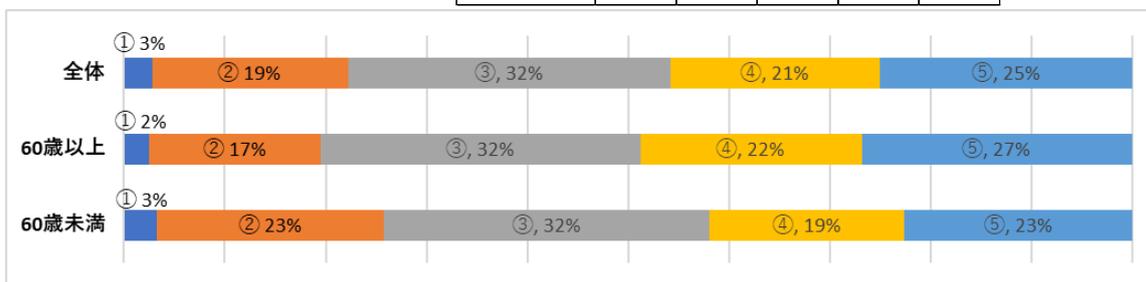
	①	②	③	④	無回答
全体	70	46	25	7	4
60歳以上	49	26	9	6	4
60歳未満	21	20	16	1	0



(4) (3)で「②申込みはしないと思う」と回答した方に伺います。国際電話の休止措置の申込みをしない理由について、当てはまるものを全て選んでください。(複数回答可)

- ① 日頃から国際電話番号が掛かってくるため(国外に親族や知人等が居たり、海外企業との取引があるなど)
- ② どのように手続きをしていいかわからないから
- ③ 手続きが面倒臭いと思うから
- ④ 必要性を感じないから
- ⑤ 他の防犯対策(ナンバーディスプレイ、自動通話録音機、留守番機能付き電話の設置など)で十分だと思うから

	①	②	③	④	⑤
全体	2	14	23	15	18
60歳以上	1	7	13	9	11
60歳未満	1	7	10	6	7



問4 現在、幅広い年齢層を対象に、「ニセ警察詐欺」の被害が急増しています。

この手口は、犯人が警察官になりすまして被害者と連絡を取り、被害者が事件の容疑者である旨を告げて、LINEなどのビデオ通話に誘導し、偽の警察手帳や逮捕状を提示した上、捜査名目で金銭を要求するものです。



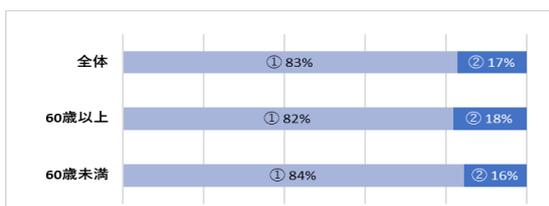
見破るポイントは3つで、「①警察は、SNSで連絡をしない。」「②警察は、警察手帳や逮捕状の画像を送らない。」「③警察は、捜査名目で金銭を要求しない。」です。

(1) アンケート前、「ニセ警察詐欺」の手口について、知っていましたか。

当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 知っていた
- ② 知らなかった

	①	②
全体	126	26
60歳以上	77	17
60歳未満	49	9

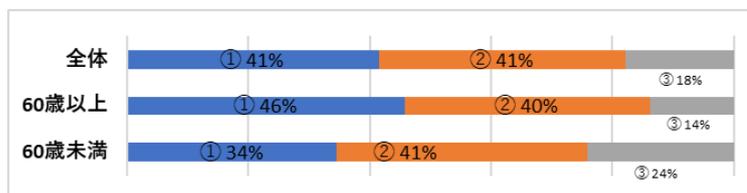


(2) アンケート前、前述した「ニセ警察詐欺を見破るポイント3つ」について、知っていましたか。

当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 全て知っていた
- ② 一部、知っていた
- ③ 全く知らなかった

	①	②	③
全体	63	62	27
60歳以上	43	38	13
60歳未満	20	24	14

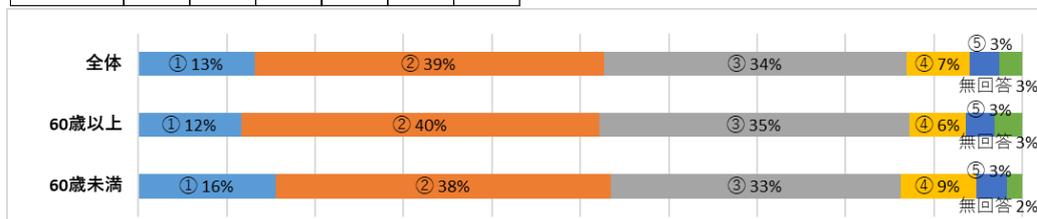


(3) 今後、「ニセ警察詐欺」の広報を実施するにあたり、どのような広報方法が効果的だと思いますか。

当てはまるものを1つお選びください。

- ① 被害件数や被害額など脅威を伝え、危機感に訴えるような広報
- ② 具体的な手口を紹介し、被害のきっかけとなる電話対策を中心とした広報
- ③ 「見破るポイント3つ」を簡潔明瞭に伝え、自主防犯意識を高める広報
- ④ 関心を持ってもらえるような話題性(インパクト)を重視した広報
- ⑤ 特徴や対策について、警察官が分かりやすく実演する寸劇などの広報

	①	②	③	④	⑤	無回答
全体	20	60	52	11	5	4
60歳以上	11	38	33	6	3	3
60歳未満	9	22	19	5	2	1



問5 近年、SNSを悪用した投資・ロマンス詐欺が全国的に急増し、岩手県でも今年10月末で認知件数が88件、被害額が約5億4,700万円に上るなど、特殊詐欺と同等の深刻な被害が発生しています。

また、SNS型投資・ロマンス詐欺被害の半数がネットバンキングや暗号資産による送金となっています。

(1) SNSを悪用した投資・ロマンス詐欺の手口があることを知っていましたか。当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 知っている
- ② 知らなかった

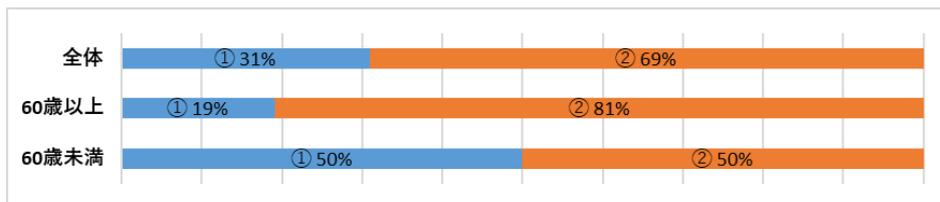
	①	②	無回答
全体	140	12	0
60歳以上	85	9	0
60歳未満	55	3	0



(2) ネットバンキングの利用状況について、当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 利用している((3)へ進んでください。)
- ② 利用していない((4)へ進んでください。)

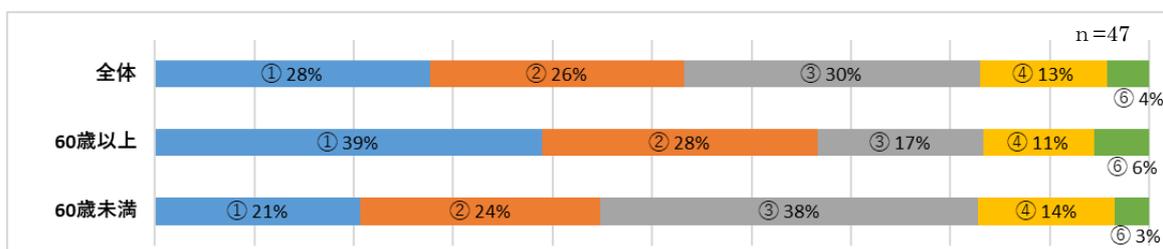
	①	②	無回答
全体	47	105	0
60歳以上	18	76	0
60歳未満	29	29	0



(3) (2)で「①利用している」と回答した方に伺います。利用するに至った理由について、当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 時間を問わずに即時手続きができるため
- ② 店舗、ATMへ行かなくても振込手続きなどができるため
- ③ 振込や振替の利用手数料が安い(あるいは無料)ため
- ④ 残高、取引明細などの確認が容易で管理しやすいため
- ⑤ 住宅ローンや投資信託などに使用するため
- ⑥ 特に理由はない

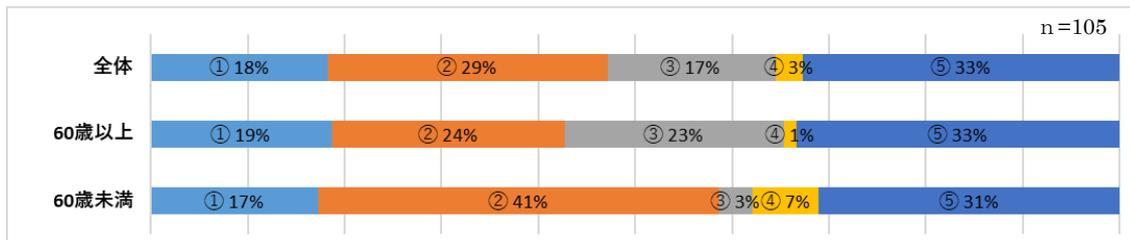
	①	②	③	④	⑤	⑥
全体	13	12	14	6	0	2
60歳以上	7	5	3	2	0	1
60歳未満	6	7	11	4	0	1



(4) (2)で「②利用していない」と回答した方に伺います。利用しない理由について、当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 申込手続きや設定が複雑で面倒と感じるから
- ② ネットバンキングによる犯罪被害などセキュリティ面で不安を感じるから
- ③ 金融機関の窓口やA T Mでの手続きの方が、周囲の目があり便利または安全だから
- ④ 数字の入力だけの手続きが進むため、現実味に欠けるから
- ⑤ 必要性を感じないから

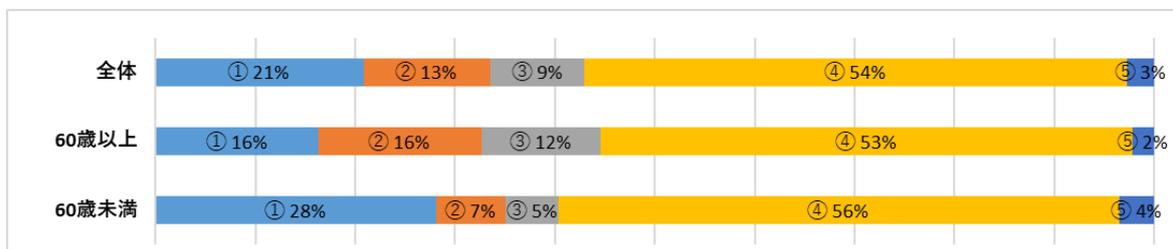
	①	②	③	④	⑤
全体	19	30	18	3	34
60歳以上	14	18	17	1	25
60歳未満	5	12	1	2	9



(5) 今後、SNSを悪用した投資・ロマンス詐欺の対策を実施するとしたらどのような取組が効果的だと思いますか。当てはまるものを1つお選びください。

- ① SNSの広告等を活用した広報の実施
- ② 企業や学校等における防犯講話等での周知
- ③ 巡回連絡（警察官による個別訪問）による広報の強化
- ④ テレビやラジオ等のマスメディアによる広報の強化
- ⑤ その他

	①	②	③	④	⑤
全体	31	19	14	81	4
60歳以上	15	15	11	49	2
60歳未満	16	4	3	32	2



【その他に寄せられた意見】

- ・メディアやSNSが信用できない現状で何を基準にすれば良いのか分からない。
- ・小学校から高校まで特殊詐欺等の事実を授業に組み込むことが重要。
- ・被害の年齢層に沿って高齢者に対してはテレビ、若年層に対してはSNSによる広報をするべき。
- ・自分だけは大丈夫と信じてしまい、結果として被害にあっているため、検索機能で詐欺と判断できる機能を設ける

など

【対策・広報全般について】

問6 今後、特殊詐欺等の被害をなくすために、岩手県警察にはどのような対策、広報が求められると思いますか。御意見・御要望を御自由にお書きください。

○ 広報に関する意見・要望

- ・毎朝、今日は何件被害にあっています…的に広報する。
- ・特殊詐欺被害は、岩手県のみならず全国的な問題であると思います。例えば、ニセ警察官などの特殊詐欺では「警察」や「検察」など司法や行政機関の名詞を用いることによって、信憑性が増してくると同時に不安に陥って、要求に応じてしまう人間の心理を利用した犯罪は、冷静に考えると実際にはあり得ないことですが、このような特殊詐欺は年々巧妙化していると感じます。これは、被害防止の啓発のために行った広報を逆手にとって模倣しているとも考えます。しかし、最新の特殊詐欺被害や危険予測を含めた広報活動、とりわけ、現在行っている岩手県出身の俳優などの著名人が出演してのCMを拡充し、加えて県内市町村と協力して地域での出前講座や高齢者のいる家庭の訪問を愚直に行うことで、県民一人ひとりが特殊詐欺についてより一層危機感をもつと思います。また、県が主導して防犯仕様の固定電話の購入補助を創設することで、県民が安全で安心して暮らせるまちになるのではないかと思います。
- ・テレビやネットニュース、SNS等、具体的な詐欺の手口を繰り返し伝えるのが良いと思う。YouTubeの広告は、詐欺防止の広告なのか詐欺防止を謳った詐欺広告なのか迷いそうなのが怖い、効果もあるのだろうか。
- ・今は訪問してくる警察も本当かどうか不安になってきているので、SNSを活用しない方や年配の方にもわかりやすく、詐欺手口を伝えられる広告や冊子、ポスターを定期的に配布してほしい。
- ・実際に警察官を名乗る電話が家にかかってきました。詐欺かどうか判断が難しかったため、電話を切って管轄の警察署に電話をして確認したところ詐欺の電話だとわかりました。詐欺の手口は知っていたものの、実際には判断が難しいと感じました。他の方もそうだと思うので「必ず一旦電話をきって最寄りの警察署に確認」をするように広報してはいかがでしょうか。
- ・デジタルからアナログまで、ありとあらゆる媒体を使った広報。全世代に目につくような広報。
- ・被害者がSNSでどんなタイミングで詐欺師に出会いどのような流れでお金をだまし取られたのかを、リアルな表現で騙されるとこういうふうな被害を受け大変な目に合う、他人事では無いですよ、次は貴方だと、自分は大丈夫と思っている人たちも恐れるような広報を。
- ・小規模な地域コミュニティ毎に高齢者を集めて、警察官による実際の様子を演技して頂く。コマーシャルをみるより、直接見たり聞いたりの方が理解度が深まるし、周知のきっかけにもなると思います。
- ・SNSやインターネットサイトなど、手軽に情報を得ることが当たり前になっているが、その分、犯罪や詐欺の被害にあう可能性も出てきます。本物と似せた偽サイトや、偽広告から詐欺のサイトを誤ってクリックしてしまうことも、今まではなくても、これから巻き込まれる可能性もあるので、学校や人が集まる場で詐欺にあわないためのお話や、おかしいと思った時、巻き込まれそうな時、万一、巻き込まれた時、まずどうしたらいいのか教えてもらえると心強いです。特に、ネットを使う機会の多い中高生に対して詳しくお話していただくとありがたいです。
- ・新聞でたまに読む被害の実例などが分かりやすいと思うので広報誌やHPで具体的なやりとりなどを掲載すると良いと思う。

【問6 つづき 2】

- ・高齢者だけが詐欺に引っかかっているように感じるかもしれないが、若い方も引っかかっている人が多いので、高齢者向けではなく全世代に伝わるような、危機感を持って貰えるようなCMだったり広告をした方がいいと思う。
- ・広報などで身近な人の経験、記事、手口を記す。身近に感じる対策になるように。
- ・東京などの大都市の話だと思われる人が多いようです。田舎でもロマンス詐欺に遭うことが少なくないと思います。ぜひ、CM・広報などを活用して、具体的な“やりくち”を教えてほしいと思います。
- ・詐欺被害、詐欺に加担した人の事例とかを発信してもよいかもしれない。
- ・巡回しての広報活動や何かのイベント、講演での周知等を多く行っていくことが良いかと考えます。
- ・テレビや報道、チラシなども重要ですが、公民館に集まっての広報や勉強会、各家に警察の方や民生委員などが訪問し、お互いの顔や表情を見ながらの会話で被害にあわないように周知していく方法が良いと思います。
- ・町内会の定期的な会議や忘年会等で、交番の方が直接説明する事も小さなコミュニティでは効果的だと思う。テレビやSNSだとどうしても流して聞いてしまい、印象が薄いので「警察官から直接聞いた」という広報は参加者の記憶に残るのではないかと思う。
- ・CM等で実際の手口を紹介すべき。一部でも手口を知っていれば、特殊詐欺と見抜ける可能性が上がるのではないか。
- ・被害にあわないためにも、具体的な手口をきくことができると「え？そうくるのか」と構えることができると思います。でも、テレビなどのマスメディアでは、犯人も見ることがあるので、すぐに違う手口を考えてくるだろうという懸念があります。
- ・今、放送されているCM等は以前にくらべるとわかりやすく頭の中にはいりやすいと思っています。私の年齢的な事もあるのですが、意味が分かりづらいカタカナ語よりわかりやすい言葉で表現されているほうが助かります。
- ・実際あった出来事についてのドラマ化・番組制作。実際に起きた事件の内容を、役者さんとかが実演して、テレビ放送等で告知し、見た人に認知してもらえれば良いと思います。
- ・重要事項をA3サイズでラミネート加工し、2部作成全戸配布して掲示するようにする。1つは、玄関用として詐欺師が来訪して玄関に入って来た時に目につきやすい所に掲示する。2つ目は、家族の方が常に目に付くところに掲示するようにする。常に皆さんが意識する環境作りが大切かと思っています。
- ・特殊詐欺は、どうしても高齢の方が被害を受けるイメージなので高齢の方はSNSというより新聞やTV、ラジオでの注意喚起が良いと思います。
- ・実際の犯人の音声を流して「特殊詐欺はこのようなものだ」と示して広報してほしい。
- ・目に見える広報活動（TVやラジオによるCM、ポスター掲示、回覧等）の強化と、地域の見回り強化によって住民と顔見知りになっていただきたいと思います。
- ・定期的な家庭訪問や住民の集まりでの告知。市役所、地区センターでの告知。
- ・被害があったら、すぐに事例を詳しく公表してほしい。

【問6 つづき 3】

- ・一関市出身の元警官、佐々木成三氏を起用したCMや講演会・防犯イベントなどを増やした方が良い。
- ・詐欺罪（加担者）の量刑、重罪性について具体的に広報活動し、特殊詐欺の加担者及び実行役に危機感を与える。
- ・NHK、民放等の各メディア全般に広めるべきであり、CM等の回数を多くし、ポスター等県民が常時意識できるようにすべきである。
- ・全国で特殊詐欺被害が多発している事は多くの方がニュースなどで見聞きしていると思いますが、ほとんどの人は自分は大丈夫、絶対に騙されないと考えているのではないのでしょうか。もし役所や警察を名乗る電話を受けた場合、本物かどうかの見極め方や、詐欺に合わないために具体的にどのように対処すべきかを、テレビやYouTubeのCM、広報誌、チラシの配布等でお知らせしてほしいと思います。
- ・詐欺の入り口は固定電話と携帯電話なのでそこに絞った広報はよいと思う。実際に詐欺にあった人の話しや具体的な手口の広報は自分事として気をつけるモチベーションになった。特に詐欺にあった高齢者の家族の証言は身につまされた。こういう広報は繰り返しやってほしい。
- ・警察官だけではなく、一般的人にもレクチャーして、その人達に地域で説明、広報が出来るようにすると良いと思います
- ・最新の事件から、流行の詐欺について迅速に広報してほしい。知らない世界で起きている問題を伝えて欲しい。

○ 被害防止対策に関する意見・要望

- ・子供世代で、祖父、祖父母、その友人と、特殊詐欺についての会話をするというキャンペーン、コンテストをする。コンテストの優勝者は何かもらえる。孫と祖父祖父母の交流を推進する。
- ・相手の要望に対してすぐ対応せず、家族や知人、友人などに相談して、大丈夫かどうか確認の上被害に遭わないようにする。どうしてもこういう犯罪は、相手の弱みにつけこむことが多いと思うので、信用している方以外にはあまり個人情報は伝えないようにする。
- ・孤立させない、孤立しない。相談できたり話せる環境をつくること、自分の日々の出来事をきくことも1つだと思います。
- ・特に独居老人は不安やさびしさを常にもっていると思う。そこに話し相手ができることついでに心を許してはまっていくのでは。普段から交番、駐在所の警察官が話しやすいように声をかけてくださると不安が減って、簡単に騙されたりしなくなると思う。
- ・銀行、郵便局、スーパー、コンビニ、警察施設前などに目立つのぼり旗などで町ぐるみ、県ぐるみで被害を防ぐ。
- ・犯人を徹底的に検挙していただきたい。
- ・一人一人が自分は大丈夫と思っている。しかし、いざとなると引っかかってしまう。まさかとか自分だけはとかが通用しないと周知する必要がある。
- ・電話で少しでも違和感を感じたら家族や警察へ電話をかけて相談する習慣をつけましょう。
- ・私は絶対騙されない！・・・という認識を改めさせ、誰もが騙されることを自覚させる。

【問6 つづき 4】

・被害があった際にどこに相談して良いか分かりづらい部分がある。どの段階で警察に相談してよいのか【金銭を要求されてからなのか、金銭を支払ってからなのか】が相談できるシステムがあると、高齢者や情報が入りにくい方は今よりも相談しやすくなると思う。事情によっては家族に相談も難しい場合も考えられるのではないのでしょうか。

・岩手県在住ですが、警視庁のアプリ“デジポリス”をスマートフォンに入れました。固定電話の対策も必要ですが、スマートフォンの対策も必要だと考えます。警視庁アプリの東北版等の検討をお願いします。

○ その他の意見・要望

・一般的に利用されている、情報発信・伝達網が信用できなくなる事態を予測できない現在は、今後の生活が無防備であることに不安を感じています。インバウンドが普通であった、ちょっと前の生活に戻って国際的に友好的な日本になってほしいと思います。

・特殊詐欺に関する事故や事件の内容をみるにつけ、お宝や資財の保持や取扱いに関する一人ひとりの自覚のなさがっかりします。もっと資財やカネに対して責任の大切さ自己責任のあり方を肝に銘じてほしい（お金のことを簡単に考えてはいけない）。

・年々、特殊詐欺の認知件数・被害総額が増加しています。このことは犯人の手口の巧妙さの向上と、それに追いつかない対策や被害者の意識があると思います。私は某高齢者施設でお話相手のボランティア活動をしていました。その時、多くの方が何らかの不審な電話やメールがあったと話していました。被害に遭われたかは分かりませんが、プライドの高い人や見識があると自負している方ほど被害に遭っても恥ずべき事と他人に話さないようです。そんな方々は特殊詐欺防止の広報を観ても「自分はそんな詐欺に騙されない。大丈夫」という自己意識が強いけれど、巧みな手口には騙されてしまいます。気付いても失態を警察には勿論、家族や他の誰にも話さず一人で泣き寝入りしていると思いました。これらは、明るみに出ないので、認知件数には加算されません。一般的に知識人といわれる職業であった方に多いように思いました。犯人はスマホの秘匿性の高い通信手段を使ったり、世界の何処からでもスマホ片手に使い捨ての実行犯を操ってます。また狙う物は現金から電子マネー、そして金塊などと変わっております。被害者を欲望を満たす甘い話や脅しなどの不安感や恐怖感で陥れます。高齢者は容易に心を開いて話してくれません。相手が自分の話を聞いてくれて、自分の辛さや喜びに共感してくれる人と認識すれば、ようやく話してくれるものです。高齢者への被害防止広報では、高齢者の尊厳や人格を否定するような子供扱いは禁物です。例えば、実例を寸劇などで興味を抱かせ、理解させるのも一案と思います。儲け話や性欲を満たすもの、優しい口調の誘い、警察や弁護士などを装った者からの話、また家族の困りごとや料金未納とか口座が悪用されているなどの不安感をおおるもの、更に脅し口調の誘いに騙されず、屈しないようにさせるにはどうすれば効果があるのか考えて頂きたいと思います。最近検挙された事件の手口を真似た事件や自分で作成したコンピュータープログラムの効果を試そうとするサイバー攻撃をゲーム感覚で行う低年齢層の事件も気になるところです。更に生成AIがそれらを急速に助長させています。

・警察が住民に信頼されるに足る組織として発揮するよう内部教育を充実してほしい。

【問6 つづき 5】

・実家の親(母)が一人で暮しており、固定電話に“変なTEL”がかかってくる・・・との事です。離れて暮らす娘としては、それが一番心配な部分です。そこで、国際電話のストップをお願いしたいのですが、当の本人でないとダメと言われました。もちろん、それは理解できますが、もう少し大らかなやり方ないのでしょうか？こんな時、どうしたら良いのか悩みどころです。例えば、こんな場合についての案内や相談ごとを聞くことができるような県の窓口や相談ごとを聞くことができるような県の窓口などがあったら、本当に助かるし、(親だけでなく見守る方も)安心できると思います。

・もうけ話になると、高齢者は年金生活で大変なので、少しはたのしくと思ってだまされると思う。国、県、市町村まで人の生活をもう少し根本から考えてほしい。

・テレビ・ラジオなどマスメディアに昔ほどの情報発信力がないため、何か一つに特化するやり方(対策、広報)ではなく、満遍なく周知を行わなければならないのではと考えます。

以 上